

2023 年度

認知症ケア研修

募 集 要 項



独立行政法人国立病院機構 北陸病院

研修の趣旨

日本は、加速する少子高齢化の中で、従来の「疾病を治す医療」から「暮らしを支える医療」へと医療提供体制も転換期を迎えています。住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が進められていますが、老年期の精神障害、なかでも認知症疾患への対策が重要な課題となっています。

当院は、平成24年4月認知症疾患医療センター（地域型）を開設し、認知症が疑われるご本人やご家族、関係機関などからのご相談をお受けして、鑑別診断を行い、周辺症状に対して適切な医療を提供し、対応の助言などを行っています。また、保健医療・介護機関等と連携を図りながら、さまざまな事業に取り組み、地域における認知症疾患の保健・医療・介護サービスの向上を図ることを目的に活動しております。

その活動の一環として、認知症患者の理解を深め、患者さんおよびご家族を支援するために必要な看護実践力の向上を図るとともに、地域を含めた患者さんおよびご家族の介入に携わる多職種チームと協働・連携し、中心的役割を果たせる能力を養うことを目的に研修を企画しました。なお、本研修は、「認知症ケア加算施設基準対応研修」の要件に該当する研修として承認されています。

医療機関等で勤務されます多くの看護職の皆さまに、ご参加いただければ幸いです。研修に関する最新の情報は、適宜ホームページにてご案内いたしますのでご確認くださいませようお願いします。

2023年6月

認知症ケア研修 実施要領

1. 目的

医療機関勤務者において、認知症患者の看護に従事している看護職に対し、講義及び病棟での見学実習を通し、看護専門知識及び技術の習得を目的とする。

また、患者・家族を支援するために地域を含めた多職種チームと連携・協働し、中心的な役割を果たせる能力を養う。

2. 対象者

医療機関等において、認知症患者の看護に従事する看護職

3. 研修期間

2023年9月4日（月）～7日（木）

4. 研修場所

独立行政法人国立病院機構 北陸病院体育館 及び 認知症治療病棟

5. 定員

10名程度

6. 研修費(資料代等)

5000円

7. 研修プログラム及び日程

別紙1, 2のとおり（変更が生じる可能性があります）

8. 応募方法

1) 受講申請手続き

(1) 提出書類

受講願書（様式1）

履歴書（様式2-1, 2-2）

受講推薦書（様式3）

* 様式1～3をデータでご希望の方は、北陸病院ホームページにアクセスし、ダウンロードしてください。

北陸病院ホームページ画面

病院のご案内⇒部門案内⇒看護部⇒認知症ケア研修に入ってくださいと、募集要項・各種書類

（様式1～3）があります。

(2) 提出先

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

独立行政法人国立病院機構 北陸病院 庶務係

TEL : 0763-62-1340 (代) FAX : 0763-62-3460

(3) 上記住所へ郵送で送付してください。

(4) 受付期限 2023年7月20日(木) 必着

2) 受講決定の通知について

書類選考のうえ、受講の可否を8月1日(火曜)までに、施設(本人)に通知します。

なお、認知症患者の看護・ケアに関する事例検討会を実施しますので、受講決定者は規定用紙(様式4)に認知症患者看護事例を記入のうえ、8月22日(火)までに当院へ郵送してください。

3) 受講時の注意事項

(1) 受付

研修初日、9時30～9時50分までに北陸病院体育館において、受付を済ませてください。

(2) 持参するもの

- ・印鑑
- ・筆記用具
- ・演習時は動きやすい服装をお願いします。
- ・ナースシューズなどの内履きがあるとよいです。
- ・事例検討や発表用にパソコンを持参することも可能です。

4) 修了証の交付

所定の研修課程を履修した受講生には、修了証を交付します。

5) 研修費用の負担について

(1) 研修費用

研修に使用する教材等は自己負担となります。

6) 認定

本研修は、診療報酬「認知症ケア加算施設基準対応研修」として承認されています。

9. 宿泊等に関して

今年度も当院研修棟の宿泊利用はできません。

10. 本研修に関する問い合わせ先

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

独立行政法人国立病院機構 北陸病院 庶務係

TEL : 0763-62-1340 (代) FAX : 0763-62-3460

2023年度 認知症ケア研修プログラム

(敬称略)

開会式

I. 認知症施策の最近の動向

1. 認知症をめぐる動向
2. これからの認知症施策

講師：富山県厚生部高齢福祉課 地域包括ケア推進班 扇一 優希

II. 認知症の原因疾患と病態・治療

1. 認知症概論

講師：北陸病院 副院長 橋本 隆紀

2. 認知症の病態・治療

講師：北陸病院 院長 吉田 光宏

3. 高齢者の睡眠

講師：北陸病院 第1精神科医長 睡眠医療センター長 細川 宗仁

4. 認知症患者の行動・心理症状（BPSD）について

講師：北陸病院 第2精神科医長 認知症治療病棟医長 石橋 望

III. 多職種による認知症患者の専門的知識と関わり

1. 認知症患者の倫理的課題と意思決定支援

- 1) 認知症患者の自己決定を支援する各種制度について
- 2) 高齢者が地域で安心して生活を送るための支援の実際と課題

講師：北陸病院 精神保健福祉士 土谷 真美

2. 高齢者の栄養

講師：北陸病院 栄養管理室主任栄養士 南部 智子

3. 高齢者の心理

講師：北陸病院 臨床心理士 小林 信周

4. 薬物療法について

講師：北陸病院 調剤主任 稲葉 裕太

IV.入院中の認知症患者の看護の実際

- 1.認知症の原因疾患と病態について
- 2.行動・心理症状（BPSD）、せん妄への対応の予防と実際
- 3.認知症患者及び家族とのコミュニケーション方法・入院在宅での療養環境の調整方法
- 4.認知症を持つ患者の看護アセスメントと援助技術
- 5.看護師による認知症患者の倫理的課題と意思決定支援
 - 1) 身体拘束が認知症の人に与える影響、エンドオブライフの意思確認について
 - 2) 認知症患者とその家族による意思決定への支援
 - 3) 認知症患者の倫理的課題
- 6.認知症患者の退院支援と退院調整
 - 1) 家族・地域との調整、当院で行っている訪問看護について
 - 2) 多職種チームでの連携について
 - 3) 認知症病棟における看護の実際

講師：北陸病院 脳神経内科病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 松井 常二
認知症治療病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 山田 士郎

V.事例検討・グループワーク

- 1.事例検討（グループワーク）
 - 1) 事前提出事例について、グループ内で発表し、2事例を選出し、グループで検討する。
 - ・認知症患者に対する知識・技術を深め、対象の状況を考察できる
 - ・認知症患者の目線に立ち相互理解を深めて、自己の傾向に気づくことができる
 - ・研修での学び（認知症の原因疾患・病態生理・治療・患者家族の心理等）を活用して療養環境の調整、せん妄、BPSDの対応、倫理的課題と意思決定への援助を深める
 - ・認知症患者の適切な関わりとアセスメントによる看護介入を学び、薬物療法・身体拘束に関する観察と評価が行える
 - 2) 選出した事例について補足説明を行い、メンバー間の共通認識をはかる。
 - ・選出した事例についてメンバー間でまとめを行う。
 - ・まとめ方は自由とする。

担当：北陸病院 認知症治療病棟看護師長 宮内 美幸

講師：北陸病院 脳神経内科病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 松井 常二
認知症治療病棟副看護師長 認知症看護認定看護師 山田 士郎

2.事例発表・まとめ

- ・まとめた事例についてグループごとに発表を行う。
- ・発表時間 5分、質疑応答 3分、タスクより 2分

VI.作業療法と機能回復訓練

1.認知症患者における作業療法の目的・内容・実際

- ・認知症病棟における作業療法の実際

講師：北陸病院 作業療法士長 春名 令子

VII.富山県若年性認知症相談・支援センター（なないろカフェ）

1.若年性認知症患者の現状と支援体制について理解する

講師：若年性認知症支援コーディネーター 中山 博美

VIII. 全体討議

研修生全員参加

- ・研修全体を通じての質疑応答
- ・研修受講後の学びと、自施設での今後の取り組み等

閉講式・修了証授与式

2023年度 認知症ケア研修日程表

(敬称略)

9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
1日目 9月4日 (月)	9:30 ~9:50 受付	開講式 オリエンテーション 自己紹介等	認知症施策の 最近の動向 (富山県厚生部 高齢福祉課) 【廣一優希】	昼食	認知症疾患・概論 【橋本副院長】 ①②③④	認知症の病態・治療 【吉田院長】 ①②③	高齢者の睡眠 【細川医師】 ①②③	認知症患者の行動 ・心理症状 【石橋医師】 ①②③
2日目 9月5日 (火)	9:45 ~10:15 認知症患者の 作業療法・ 機能回復 【香名作業療法士 長】 ①②③	10:15 ~10:30 作業療法 動画 休憩	10:30 ~11:00 認知症の看護・演習 ①②③④⑤⑥	11:00 ~11:45 昼食	11:45 ~12:30 認知症患者の 意思決定支援 【土谷PSW】 ①②③④	12:30 ~13:30 高齢者の栄養 【南部主任栄養士】 ①②③④	13:30 ~14:40 認知症の看護・演習 ①②③④⑤⑥	
3日目 9月6日 (水)	10:45 ~11:00 認知症の看護・演習 ①②③④⑤⑥	11:00 ~11:45 富山県若年性認知症 相談・支援センター (おないうらカフェ) 【中山若年性認知症支 援コーディネーター】 ⑥	11:45 ~12:30 昼食	12:30 ~13:45 薬物療法 【稲葉薬剤師】 ①②③④	13:45 ~14:30 高齢者の心理 【小林心理療法士】 ①②③④	14:30 ~14:40 休憩	14:40 ~15:30 事例検討 ①②③④⑤⑥	
4日目 9月7日 (木)	15:30 ~16:30 事例検討 ①②③④⑤⑥	16:30 ~17:30 事例発表 全体討議 閉講式	17:30 ~18:30 昼食	18:30 ~19:30 事例発表 全体討議 閉講式	19:30 ~20:30 事例発表 全体討議 閉講式	20:30 ~21:30 事例発表 全体討議 閉講式	21:30 ~22:30 事例発表 全体討議 閉講式	22:30 ~23:30 事例発表 全体討議 閉講式

認知症ケア加算施設基準を満たす研修要件

1. 国、都道府県または医療関係団体等が主催する研修であること。(修了証が交付されるもの)
2. 認知症看護に必要な専門知識・技術を有する看護士の養成を目的とした研修であること。
3. 講義および演習は次の内容について9時間以上含むものであること

①認知症の原因疾患と病態・治療
②入院中の認知症患者に対する看護に必要なアセスメントと援助技術
③コミュニケーション方法及び療養環境の調整方法
④行動・心理症状 (BPSD)、せん妄予防と対策
⑤認知症に特有な倫理的課題と意思決定

(様式1)

※

受講願書

年 月 日

独立行政法人国立病院機構 北陸病院

院長 吉田 光宏 殿

申請者氏名

印

貴院の2023年度認知症ケア研修を受講したいので、関係書類を添えて出願いたします。

(様式 2-1)

※ _____

履 歴 書

フリガナ 氏 名			男 女
西暦 生 年 月 日		年 月 日	年 齡 歳
現 住 所		〒	電話番号 () -
勤 務 先	フリガナ 名 称		
	現 住 所	〒	電話番号 () - FAX () -
最終学歴		学 校 ・ 学 部 ・ 学 科 名	専 門 卒 業 年 月
			年 月
取得免許		免 許 の 名 称	登 録 番 号
精神保健関係の 研修受講歴		研 修 名	受 講 年 月
			年 月
			年 月
			年 月

(様式 2-2)

特殊技能資格	資格名		取得年月
			年 月
			年 月
職 歴	勤務先・所属部課名	職 名	勤務期間
			年 月から 年 月まで
			年 月から 年 月まで
			年 月から 年 月まで
			年 月から 年 月まで
			年 月から 年 月まで
現在の職務内容 (該当する番号・記号 に○印を付すこと)	1. 一般病院 ア. 認知症治療病棟 イ. 老人病棟 ウ. 精神科病棟 エ. 一般病棟 オ. その他 () 2. 精神科病院 3. 老人保健施設 (ア. 認知症専門 イ. 一般) 4. 特別養護老人ホーム (ア. 認知症専門 イ. 一般) 5. 認知症対応型グループホーム 6. その他 ()		
上記のとおり相違ありません。			
年 月 日			
氏名 _____ 印 _____			

(様式3)

※ _____

受講推薦書

年 月 日

独立行政法人国立病院機構 北陸病院

院長 吉田 光宏 殿

施設名 _____

所在地 _____

施設長氏名 _____ 印

2023年度認知症ケア研修の受講生として次の者を推薦いたします。

氏名 _____

(様式4)

※

認知症患者看護事例 記録用紙

日常の関わりの場面において、感じたこと、考えたことを意識化して記入してください。

受講者名

患者紹介		患者に関する情報	
場面の状況			
患者の言動	看護者として 感じたこと、考えたこと	看護者の言動	考察 (対応について考えたこと)